

東京23区探索徒歩の旅

【4】板橋区

2014年3月30日(日)
折笠公德

| | | |
|------|------|----------|
| 【1】 | はじめに | 1月1日(水) |
| 【2】 | 足立区 | 2月1日(日) |
| 【3】 | 荒川区 | 3月23日(日) |
| 【4】 | 板橋区 | 3月30日(日) |
| 【5】 | 江戸川区 | 3月 |
| 【6】 | 大田区 | 4月 |
| 【7】 | 葛飾区 | 4月 |
| 【8】 | 北区 | 5月 |
| 【9】 | 江東区 | 5月 |
| 【10】 | 品川区 | 5月 |
| 【11】 | 渋谷区 | 6月 |
| 【12】 | 新宿区 | 6月 |
| 【13】 | 杉並区 | 7月 |
| 【14】 | 墨田区 | 7月 |
| 【15】 | 世田谷区 | 8月 |
| 【16】 | 台東区 | 8月 |
| 【17】 | 中央区 | 8月 |
| 【18】 | 千代田区 | 9月 |
| 【19】 | 豊島区 | 9月 |
| 【20】 | 中野区 | 10月 |
| 【21】 | 練馬区 | 10月 |
| 【22】 | 文京区 | 11月 |
| 【23】 | 港区 | 11月 |
| 【24】 | 目黒区 | 12月 |



1. 旅前の板橋区の印象

小生にとって板橋区は生まれてからこの方、ほとんど行ったことがない未知のゾーン。都営地下鉄が高島平まで行っていることぐらいしか知らない。"遠くへ行きたい"の♪知らない街を歩いてみたい～♪の気分。楽しみである。

2. 板橋区紹介

1) 歴史

昭和7年10月、東京市の拡張にともない板橋地方も東京市に編入された。

昭和22年4月、地方制度の改革により特別区(現在の東京23区)の一つになり、

同年8月、区民の利便を考慮し南西部を練馬区として分離した。

明治期より軍需中心であった板橋区の工業は、終戦を境に精密機械を中心とする平和産業に変容。

また昭和30年代まで東京の穀倉地帯と称された「徳丸たんぼ」は、昭和41年12月から日本住宅公団の手により高層住宅が相次いで建設され、一躍都内でも有数の住宅街になった。

高島平団地の出現は、板橋区が都市化へ向けて出発する第一歩でもあった。
交通機関も従来の東武東上線に加え、昭和43年12月、志村(現在の高島平)・巣鴨間に
開通した地下鉄は、その後、西高島平・三田間に延長され都営三田線となり、平成12年9月
には三田から目黒へ延伸し、東急目黒線に相互乗り入れしている。
まさに首都東京の北端を担う都市景観が出現している。

2) 区名のゆらい

「延慶本平家物語」という軍記によると、治承4年(1180年)に拳兵した源頼朝が、
「武蔵国豊島ノ上滝野川ノ板橋」に布陣している。
ここに地名としての「板橋」が初めて現れ、少なくともこの資料が成立したとみられる
鎌倉時代には「板橋」の地名があったことがわかる。

慶長8年(1603年)、徳川家康によって江戸に幕府が開かれると、日本橋を起点とする
五街道が整備された。

そのうちの一つ、中山道の第一番目の宿場が「板橋(下板橋)」に置かれ、大都市江戸の

3. 今回の板橋区徒歩の旅

1) ルートと全体概要

(1) 往路

大月駅→(中央本線)→新宿駅→(埼京線)→板橋駅

(2) 徒歩の旅

板橋駅 → 板橋本町 → 中山道 → 荒川 → 西高島平 → 板橋区立美術館
→ 東京大仏 → 成増駅 20km

(3) 復路

成増駅 → (東武東上線~地下鉄) → 新宿駅 → (中央本線) → 大月駅



2) 徒歩の旅 ドキュメント

5時20分

起床。窓の外は雨、雨が降っている。雨もまたよろし。
今日は、東京23区徒歩の旅の3回目。雨の板橋区に行く。
朝食は、おにぎり、バナナ、野菜ジュースと超軽食。
家内に大月駅まで青い折笠プリウスαで送って貰う。
このところ、報告、出張、早朝出勤続きで心身共少し疲れ気味。
そんな時こそ気分転換が必要。
雨で一瞬めげたが、有言実行、日曜日、気合で一気に外に飛び出した。

6時00分

東京行快速電車は大月駅を出発。
コーヒーを飲みながら今日のプランをパソコンで確認。(自己満足の世界)

7時47分

埼京線板橋駅に到着。板橋区の最南端に位置する。
初めての地である。駅は下町風でありきれいでない。
駅前のKIOSKでボールペンを買ったところ、店員のおばさんが親切にハサミでビニールの入れ物の先を切って渡してくれた。
この様なちょっとした親切がうれしい。



板橋駅

7時50分

板橋駅東口出発。
東口から西口へ行く途中、怪しい路地裏の飲み屋街有。
既にやっているお店もありそう。板橋駅周辺は怪しいおじさんが多い。



飲み屋街

7時58分

近藤勇の墓。
幕末の動乱期、土方歳三らと新撰組近藤勇は新撰組を組織した。
戊辰戦争を転戦するも、千葉・流山の戦で新政府軍に投降した。
慶応4年に板橋宿のはずれで処刑された近藤の首は、京都の三条にさらされた。墓標には、近藤勇の隣に土方歳三の名が刻まれている。



近藤勇の墓

8時05分

旧中山道に向かっている。
グリーンロードと称する商店街を北上しているが、
飲み屋とリラクゼーションのお店の多い。



グリーンロード商店街

8時20分

旧中山道に入る。板橋宿を名所・旧跡を訪ねながらジグザクに進む。
板橋宿は、品川宿、千住宿、内藤新宿とともに江戸四宿として栄えたという。



子供動物園

8時40分

小さな子供動物園あり。
これは江戸時代からあったものではないと思うが。
街のど真ん中にこの様なメルヘンがあってホッとす。
三人の若い飼育係(男子1名、女子2名)が楽しそうにヤギの世話(う〇こ掃除)をしていた。
とても微笑ましく、輝いて見えた。動物が大好きなんだろうな。



8時50分

文殊院。

江戸初期、本陣飯田家の菩提寺として建立された。
本尊は文殊菩薩。境内には閻魔魔王を祀る。
史跡には板橋遊郭に関する遊女の墓がある。
何か不思議な雰囲気を感じた。



文殊院

8時57分

これぞ

板橋に到着。

ここで板橋を紹介

『鎌倉時代には既に板橋という地名は使われており、
この橋が名前の由来だと言われている。
現在の橋は昭和47年に架け替えられた
コンクリート製のもの。』
ちなみに大月市も猿橋市に改名したらどうかな。
市長に提題しよう。



板橋



石神井川沿道の桜の花はお見事！

板橋に来て本当に良かったと思わせてくれる。



9時05分

旧中山道を行くと縁切榎に着いた。

ここで紹介

『嫁入り、婿入りの行列がこの榎の下を通ると
夫婦は必ず不縁になると信じられていた。
皇女和宮が徳川家に降嫁した際は、この木を
迂回して板橋宿へと入った。』
これは縁切りに御利益があると今も信仰されているという。
まずい、小生ここに長居し過ぎた様な。
それにしても、おみくじの自動販売機には笑えた。
おっと雨脚が強くなってきた。
罰があたったかな。
板橋区は街中に多くの文化遺産や史跡を残しており、
とても保存に力を入れている。



縁切榎



9時15分

旧中山道を北に向かっていく。
なかなか洗練された小路がある。

9時25分

板橋区清水町。

ここで、中山道(国道17号)と旧中山道が合流し、
首都高が左に旋回して別れを告げる。
中山道(新河岸川(隅田川の上流に位置)
志村橋を目指す。
途中、中山道界隈を楽しむ。



洗練された小路

粋な酒場あり、その名も中仙酒場。
酒も肴も旨そう～。

良いですねえ～。石田石材店。
柔和な御爺さんの石像にすっかり癒された。



石田石材店



中仙酒場

南蔵院のしだれ桜にもすっかり癒された。

斎藤商店。けやきを主に扱う原木商として明治22年に当地で創業したという。

志村警察署ポスター
”守ろうよ わたしの好きな街だから”
その通り！

志村一里塚、1604年徳川家康が街道整備のため、諸国の街道に一里塚(4km毎)を設置。歩道上にあるため、歩道を迂回させて保存している。

オリエンタル酵母工業。
立派な壁、環境に十分配慮している立派な会社というイメージを感じる。

蓮根川緑道、少年は何を叫んでいるのだろう？
「お腹すいた〜」「幸せかい〜？」

10時30分
小生もお腹すいた〜。おっおいしそうな和菓子屋がある。
奥州屋、軒先をちよいと借りて一休み。
板橋お伝え最中「小倉」「あんず」美味い。
最中には「茶 伊右衛門」でしょ。
飲むなら、今でしょ！

10時37分
一宿一飯のお礼を心に出発。元気でした。

10時38分
新河岸川の志村橋。
新河岸川はここから下流の新岩淵水門で隅田川と合流して名前が無くなる。

10時42分
新河岸川沿を上流の高島平を目指す。
桜の若木に花が咲いている。
十年後には立派な木になって更に綺麗な花を咲かせて下さいね。

10時47分
ここは立派な桜の木たちの競演。お見事！
周りにはだれ一人もなく、完全に独占の世界。

向かい側には新日鉄住金の工場がある。
鍛造機と思われる音が結構気になる。
住民から苦情はないのだろうか？
新日鉄住金殿には、アクスルビームの設計と製造ですっかりお世話になった。



南蔵院



斎藤商店



ポスター



志村一里塚



オリエンタル酵母工業



叫んでいる少年



奥州屋で腹ごしらい



10時38分
新河岸川の志村橋。
新河岸川はここから下流の新岩淵水門で隅田川と合流して名前が無くなる。



志村橋

10時42分
新河岸川沿を上流の高島平を目指す。
桜の若木に花が咲いている。
十年後には立派な木になって更に綺麗な花を咲かせて下さいね。



桜の若木

10時47分
ここは立派な桜の木たちの競演。お見事！
周りにはだれ一人もなく、完全に独占の世界。



立派な桜の木たち



川の向こうの新日鉄住金の工場

11時00分

新河岸川沿を歩いている。

向かって右側の新河岸地区には、新日鉄住金、高砂鐵工、他の大きな工場が多々ある。

たぶん、板橋区は相当量の税金が入ってきているに違いない。

財政豊かで、施設が充実している様な気がする。



板橋清掃工場

11時04分

あっ あの大きなきれいな建物は何だ？

庭は花や緑の木々がいっぱいある。

板橋清掃工場であった。立派。

11時09分

徳丸橋付近。街中にこんなどかいガスタンクがあるなんて・・・。

地震や火事に対するリスク管理は大丈夫か？

大学時代、設計の自由課題で友人がガスタンクの強度計算をやっていたが、なんだか怪しかった覚えがある。

まあ、板橋区はしっかりしているので大丈夫でしょう。



ガスタンク

ここで、新河岸川に別れて左に大きく旋回。

高島平駅を目指す。

すげえ～、区立の熱帯環境植物園なんてのがある。

おまけに本日は小中学生は無料だそうだ。

やっぱ、リッチだわ、板橋区は。



区立熱帯環境植物園

11時20分

都営三田線の高島平駅付近。

ここで、右折して西高島平駅まで高架橋の下を歩く。

駅の柱はモニュメントになっていてモダン。



高島平駅

11時35分

新高島平駅、道路沿いに立派な住宅が続いている。

ここで高島平団地を紹介

『高島平団地への入居開始は1972年(昭和47年)から始まった。

高島平団地の総戸数は10,170戸。団地以外の地域も、

高島平全域が新興の住宅地であり、地下鉄で山手線の駅への

交通が確保されていたことから、若年層が多く入居した。

旧来よりこの土地に生活していた人々は多くなかったが、

その大半は立ち退き、あるいは整備された宅地に転居した。

この結果、それまで一面の田んぼだった徳丸ヶ原には、

高島平団地のみで2万人以上、高島平全域で5万人の人口を

抱える一大住宅都市が出現した。』



高島平団地

5万人、凄い規模ですね。

11時49分

地下鉄三田線の終点西高島平駅着。

ここは板橋区の北西端に位置する。

意外と閑散としている。

このまま、ノンストップ、成増駅に向かう。



西高島平駅

12時04分
成増駅に向かって歩いている。
しかし、高級な家が多いなあ。
緑も多く、環境も素晴らしい。



区立郷土資料館

12時10分
赤塚城跡地区にきた。
先ずは区立郷土資料館。
立派、さすが、中も充実してそうだが、今回はパス。



区立美術館

次に区立美術館、探幽3兄弟展をやっていた。
幽霊は嫌いなので中に入るのはパス。

赤塚山乗蓮寺。境内にある東京大仏がある。
東京大空襲、関東大震災などの悲惨な戦災・震災が
起きないように願いを込めて、昭和52年に建立された
高さ13メートルの青銅製で重さが32トンあり、新東京
百景にも選ばれている。
何とも言えない迫力とユニークさがある。



赤塚山乗蓮時



12時51分
川越街道に到着。ここで左に曲がり、成増駅まで
ラストスパート。
街並みが高層ビルになり近代化風景に変わってきた。



成増の街

12時55分
成増の街は都会風で素晴らしい。
が、今まで埼玉県だと思っていた。

3時00分
今日のゴール 東武鉄道成増駅着。
走行距離約20km。久しぶりに結構歩いた。
さて、今日の御褒美は？



成増駅

13時05分
駅前のフラク食堂に。
雨と風の攻撃を受け、ビショビショなので
先ずは服装を整えてと。
それからゆっくりメニューを見る。
店長おすすめのフラク定食 ¥790と
なんと生ビール中ジョッキ ¥250。
自家製メンチカツとタルタルソースチキン
南蛮で乾杯～！
美味い～。幸せ。



板橋区は素晴らしい。

その後、すっかり御機嫌気分で地下鉄
成増駅に向かった。



駅前のフラク食堂

3) トピックス

(1) 石神井川の桜

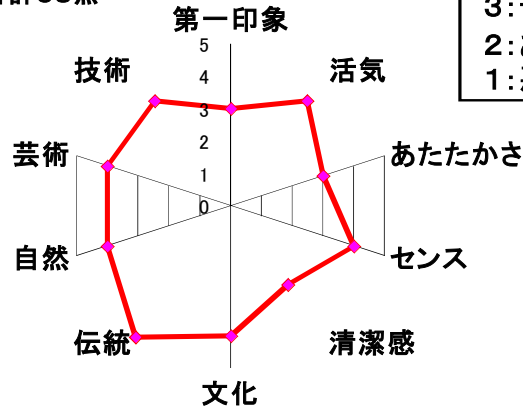
石神井川は流路延長25kmほどの、荒川水系の一級河川だ。東京都小平市を源流域とし、西東京市、練馬区、板橋区、北区と、東京都北部を東へと流れ、北区で隅田川へと注ぐ。この石神井川の、板橋区中板橋辺りから東へ、北区滝野川へ至る区間、河岸は桜の並木になっており、春には見事な景観を見せてくれる。桜の咲き誇る四月の月上旬、中板橋から東へと向かって石神井川の桜並木を歩いた。

4. 旅後の板橋区の印象

1) 評価

| 評価項目 | | 点数 |
|-------|-------|----|
| 主観的評価 | 第一印象 | 3 |
| | 活気 | 4 |
| | あたたかさ | 3 |
| | センス | 4 |
| | 清潔感 | 3 |
| 客観的評価 | 文化 | 4 |
| | 伝統 | 5 |
| | 自然 | 4 |
| | 芸術 | 4 |
| | 技術 | 4 |
| 合計 | | 38 |

板橋区
合計38点



| 点数 |
|------------|
| 5: 良い |
| 4: まあ良い |
| 3: 普通 |
| 2: あまり良くない |
| 1: 悪い |

2) 全体を通して

区名の由来もはっきりしていてコンセプトが明確。

区民のための施設が多く、行政がしっかりしている。

中山道沿道の宿場文化や寺院がしっかり維持されている。

巨大な住宅街・高島平を有し、都営地下鉄や首都高速道路などの交通網もしっかりしている。

石神井川、新河岸川やどこの街並みの桜も満開。

雨の桜も最高であった。

5. 自身思っていることに対するフィードバック

1) 23回/年の徒歩の旅は、回数的にも大きなチャレンジとなる

→1回の準備、実施、レポート作成は、相当な労力と時間を要する。

忙しい会社の仕事の中で如何に時間を作るかがポイントとなっている。

ただし、仕事が忙しいからこそ、心身のリフレッシュが必要になると思う。

2) 最新のモバイルパソコン導入により移動中の生情報ブログ作成にチャレンジする

→マイクロソフトXPから8.1は、大きな変化でパソコン作業に時間が倍掛っている。

少し慣れてきた感じ。

(3) 有言実行、周りにやるぞと言ってしまった、もう逃げられない

→帰りに飲む余裕がでてきた、かな。

(4) 田舎のおじさんは少しは都会的センスが磨かれるだべか

→板橋区では少し磨かれた。

(5) 自分なりの日本の心を構築していく